

25 ODAを通じた世界の食料安全保障や地球的規模の課題等への対応 【3, 066(3, 482) 百万円】

対策のポイント

- ・世界の食料生産・農業投資を促進し、世界の食料安全保障に貢献します。
- ・気候変動や越境性感染症等地球的規模の課題に対応する取組を支援します。
- ・紛争地域や大地震・洪水等被災地域を農業振興等を通じて復興支援します。

<背景／課題>

- ・世界の栄養不足人口が9億人を超える中、世界の食料安全保障の確保や気候変動等地球的規模の課題への対応、紛争・自然災害後の復興支援のための国際協力が必要です。
- ・平成22年10月に我が国が開催した「APEC食料安全保障担当大臣会合」や、平成23年6月に開催された「G20農業大臣会合」等の食料安全保障に係る国際会議での合意に即した取組を進めます。
- ・新成長戦略に位置付けられたアジア地域での植物新品種の保護体制の構築や食品安全基準の国際標準化作業等に貢献します。

政策目標

- 世界の食料安全保障の確保に向けた貢献
- 気候変動等地球的規模の課題への適切な対応
- 紛争・自然災害後の復興支援

<主な内容>

1. 世界の食料安全保障の確保に向けた貢献 871(1, 015) 百万円
(1) 2018年までにアフリカのコメ生産を倍増(1400万t→2800万t)すべくアフリカの稲作の普及等に取り組む他、イモやマメの増産を支援します。
(2) G20農業大臣会合で採択された「食料価格乱高下及び農業に関する行動計画」に基づく穀物等の市場の国際的な見通しに関する情報の質、信頼性の向上を図る農業市場情報システム(AMIS)の実施に際し、途上国の取組を支援します。
(3) アジア地域での植物新品種の保護体制の構築、食品安全や動植物検疫関係の国際基準の普及を推進するとともに、国際基準策定への参画を支援します。
(事業実施主体：FAO(国際連合食糧農業機関)、IITA(国際熱帯農業研究所)等)

2. 気候変動等地球的規模の課題への適切な対応

2, 016(2, 286) 百万円

- (1) 持続可能な農業農村開発及び森林経営のための支援等に取り組みます。
- (2) アジア各国において口蹄疫等に係る防疫計画策定を支援するとともに、鳥インフルエンザの早期通報体制整備等を行い、越境性感染症対策を推進します。
- (3) 途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進します。
(事業実施主体：ITTO(国際熱帯木材機関)、WCPFC(中西部太平洋まぐろ類委員会)等)

3. 紛争・自然災害後の復興支援

120(110) 百万円

- (1) アフガニスタン等紛争復興地域におけるプロジェクトの実施促進を図るための新たな手法の開発や農業リーダー等を対象に農業研修を行います。
- (2) 東アジアにおける大規模災害等の緊急時に備えるためのアセアン+3による緊急米備蓄の仕組みを確立します。

(事業実施主体：アセアン事務局、民間団体等)

[お問い合わせ先：大臣官房国際部国際協力課 (03-3502-5913(直))]

農林水産分野の国際協力の推進

ポイント

- 世界の食料生産・農業投資を促進し、食料安全保障に貢献。
- 気候変動や越境性感染症等の地球的規模の課題に対応。
- 紛争地域や大地震・洪水等被災地域の復興を支援。

背景

2050年の 人口(推計)	2010年の栄養不足 人口(推計)	世界の人為起源の 温室効果ガスのうち、 農林業の占める割合
93億人	9億人	31%
(国連による推計)	(FAOによる推計)	(IPCC報告書)

施策

I. 世界の食料安全保障の確保

- ・アフリカのコメ・イモ・マメの増産を支援。
- ・食料価格乱高下対策のため、途上国における穀物等の市場情報の質・信頼性の向上を支援。
- ・アジア諸国において食品安全や動植物検疫関係の国際基準の普及を後押し。



II. 気候変動等地球的規模の課題への対応

- ・持続可能な農業農村開発及び森林経営への支援等を通じて気候変動対策に貢献。
- ・アジアと協力した口蹄疫や鳥インフルエンザ等越境性感染症対策の推進。
- ・途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進。



III. 紛争・自然災害後の復興

- ・アフガニスタン等紛争復興地域におけるプロジェクトの実施促進を図るための新たな手法の開発や農業リーダー等への研修を通じ復興を支援。
- ・東アジアにおける大規模災害等の緊急時に備えるためのアセアン+3による緊急米備蓄の仕組みを確立。

